

第3回 学校関係者評価委員会

日 時：令和7年2月13日（木）15：00～15：50

場 所：本校多目的室

出会者：(1)学校関係者評価委員（4名）

本校同窓会 会長 矢上 弘幸

末吉中学校 校長 中原 誠

SKLV 南九州畜産獣医学拠点 特任教授 宮本 篤

曾於市商工会 事務局長 武田 公洋

(2)本校関係職員（10名）

1 学校長あいさつ

2 信頼される学校づくりについて

3 学校評価アンケートについて

昨年度より保護者の回答者数が減少した

原因分析：紙媒体からインターネット上における回答となったことにより、十分な回収ができなかったのではないか。

4 各部より

(1) 教務部

(2) 生徒指導部

(3) 進路指導部

(4) 保健部

5 質疑応答

A 委員：校内における問題行動の発生状況について。

回 答：数件発生しているが、今年度は生徒の啓発ポスターや指導の結果、昨年と比較し激減している。

D 委員：科学部の内閣総理大臣賞について詳細を知りたい。

回 答：エコワングランプリにおいて受賞した。研究テーマは生分解性プラスチックを作り、自然に還元できるものを目指した。

B 委員：入学した生徒が曾於高校を選んでよかったと思える学校づくりをお願いしたい。

C 委員：（学校評価アンケートの保護者回答数が減少したことを受けて）学校評価アンケートのインターネットにおける回収方法について匿名が保証されているか

回 答：個人が特定されない旨を記載していた。

C 委員：ICT の活用について、遠隔授業や学びなおしができるようすべて録画し、学内であれば見直すことができる。SKLV と連携し ICT を活用した授業実践について情報共有ができればと思っている。

C 委員：SKLV と提携して大学受験のフォローができないか。

C 委員：生徒指導(歩きスマホ)について。身体への影響を含めた指導をしてみてはどうか。

C 委員：自転車のヘルメット着用について。いずれ制度化されるので着用を推進してはどうか。

D 委員：体育祭・文化祭の案内をもらうがなかなか行けずにいる。合唱コンクール（2月開催）を初めて見させてもらったが、とてもよかった。

A 委員：SKLV と本校の連携状況について知りたい。

回 答：SKLV の学生が本校農場で学習をしている。（養豚）今後は本校の生徒が SKLV を訪れて学習ができればというビジョンを持っている。また畜産食農科の生徒だけでなく、他学科の生徒も SKLV との連携の機会を模索している途中である。

C 委員：各種品評会等において SKLV がもっと高校と関わることであれば、上位入賞のお手伝いができるかもしれない。

D 委員：今年も高校と地元企業とのコラボレーション企画をすることができた。来年度も商業科との地元企業との連携をやっていききたい。

回 答：商業科のレシピ考案だけでなく畜産食農科も和牛甲子園に出品した肉用牛の販売を地元企業でしていただいた。